



(社)いわふね青年会議所 広報紙

あらかみ

2003年

元旦号

2003.1.1



新年のご挨拶

直前理事長

田村 崇行



新年のご挨拶

2003年度理事長

貝 沼 正 己

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は2002年度スローガン「至誠の感ずる所、天地も之が為に動く」のもと展開いたしました青年会議所活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございました。

昨年を振り返り、一年間事業に邁進できましたことはひとえに地域の皆様、関係諸団体の皆様、先輩諸兄、そして共に苦労を分かち合い共に活動したメンバーのお陰であると重ねて御礼を申し上げます。

「第15回日本海夕陽ラインシンポジウム in いわふね」地域を愛するJCIとして、コミュニティとネットワークの融合～自立した地域間の大きな可能性～をシンポジウムテーマとし、当日ご来場の1,300名を超える皆様と共に地域社会の未来とネットワークの在り方を考え、発信することができたと自負しております。

「社団法人いわふね青年会議所35周年記念式典」深刻な長期不況にある現在だからこそ青年会議所活動の原点に立ち返り、先輩諸兄の思いと活動を振り返り、今我々はどの活動すべきなのか、未来を考える転機となりました。

「修練」責任ある青年経済人として、我々は常に自らを練磨して行かねばなりません。

ランチエスター戦略経営研修、例会での社会起業家研修、新潟ブロック会長公式訪問、スポーツ研修、新潟水俣病弁護団長坂東弁護士講演会、村上市長との懇談会、コミュニケーション研修、PCパワーポイント研修、EDOゲーム、地域通貨勉強会、行政懇談会、近隣行政機関との懇談会等を通じ、さらなるスキルアップができたものと考えます。

「終わりに」最後になりますが、若輩者の私が、歴史ある青年会議所の理事長を拝命させていただき、普通では経験できないような経験をたくさんさせていただきました。

この一年間は私の一生の宝物です。私を支えてくれた妻の泰子、両親、会社、友人、JCIの仲間、OB諸先輩方、関係者、関係諸団体の皆様、地域の皆様に深甚に感謝申し上げます。ありがとうございました。

本年度は貝沼理事長を始めとする「2003年度社団法人いわふね青年会議所」にさらなるご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。

昨年中は(社)いわふね青年会議所の活動にご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございました。本年も変わらぬご指導ご鞭撻の程よろしくお願いたします。

さて、私達(社)いわふね青年会議所は、昨年35周年を迎え、今までの経験、研修などをふまえ、更なる進化を遂げていかなければなりません。現在に至るまで、数多くの事業や活動を行ってこられたのは、先輩諸兄の計り知れない努力と、地域、行政、企業の皆様の深いご理解があったからだと確信いたしております。

現在の世界情勢はますます厳しく、複雑多様化し、すべてのものがどのように変化していくのかさえよくわからない混沌とした時代です。そのような状況下で今「いわふね青年会議所」として何をおこなうべきなのでしょう。今年度は、さまざまな研修を通じて、『自己実現』にむけ目標設定し、そこから地域社会へ還元できることを、模索していきたいものと考えております。

そして、私達は人生の中で、いったいどのような時に、「喜び」や「達成感」というものを感じるのでしょうか。気持ちが通じ合うとき、感動したとき、仲間と一緒にいるとき、目標を成し遂げたときなど、これらのほとんどが、ひとりではなく人と人のかかわりによって発生しています。これまで私達は、たくさんの人々と出会い、お互いに理解しあい、素晴らしい人間関係を創りあげてきました。

今年度も、『自己実現』に向け、感謝の心を基本とし、時には楽しく、時には厳しく、自由に話し合い、活動できる一年間にしたいと思います。

『個々の能力を信じ、気概を高め、変革の能動者として挑戦し続けよう!』

未来創造事業

2003年度スローガン

「明るく自由に語り合い、未来を創造していこう」

将来を担う子どもたちと一緒に！ 「EDOゲームを活用した青少年育成事業」

私たちが生活している現代社会は、快適で便利な生活ではありますが、精神的犯罪や青少年の凶悪犯罪の多発等、最近の暗い社会情勢を考えると、この地球上で生きる上で何か大切な忘れ物をしているのではないかと言うことに気づくはず。また、「個性」と「利己」を履き違え、「自分さえ良ければ他人はどうでも良い」というような考え方が蔓延しているのではないのでしょうか。そこで、日本の歴史上急激に発達する以前の江戸時代にもどっていただき、EDOゲームを通じて現代社会の忘れ物(人と人とのコミュニケーション、繋がり、助け合い)に気づき、現代社会のしくみを考えなおし、行動を起こす足がかりにさせていただきたいと思ひます。

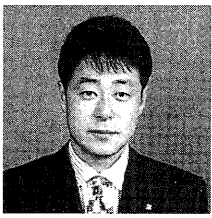


わたしたちのまち 再発見！ 「環境問題研修」

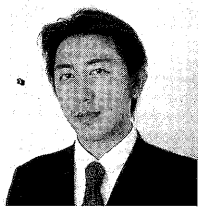
昨今環境問題が深刻化する中で、地球温暖化防止など、数々の国際的取り組みが始まっています。わが国でも各種リサイクル法、グリーン購入法など、次々に循環型社会構築のための新しい法律が生まれています。今後も、規制緩和が叫ばれる時代にもかかわらず、環境関連では規制強化の方に進むことは確実です。今年度、青年会議所は自分たちの住んでいる地域は今、どうなっているのかを考えてまいります。



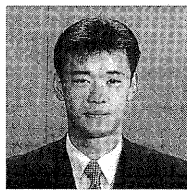
メンバー紹介



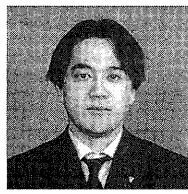
理事長
貝沼 正己
(株)新和建設



直前理事長
田村 崇行
(株)ヤマギン



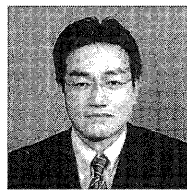
専務理事
貝沼 栄司
貝沼総合保険



副理事長
大滝 哲也
大滝自動車工業(株)



副理事長
金子 三十美
(株)金子工務店



監事
大田 文美
(株)大田電気

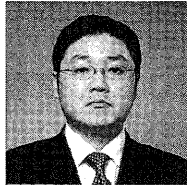


監事
鈴木 敏明
(株)山木組

事務局



事務局長 安藤 成
ホームサービス ひまわり



事務局次長 斉藤 健
朝日舗道(株)



竹内 歩
(株)千渡里



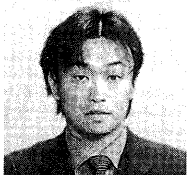
吉村 文和
(株)吉村電工

2003年度を迎え、(社)いわふね青年会議所では地域に根ざした活動を通じて、次代を担う青少年の育成や、指導力・経営能力の開発研修等を行い、地域社会へ参加していきます。本年度事務局では、ホームページの活用やメールリストによる会員相互の連絡の円滑化、会のスムーズな運営のバックアップ、また当会各事業が効率よく運営されるように、正確でスピーディーな事務・総務を心がけて一年間頑張っております。皆様のご協力宜しくお願い致します。

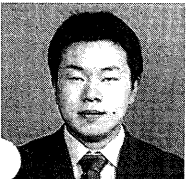
LOM創造委員会



委員長 鈴木 洋司
鈴木建具製作所



副委員長 高橋 透
メガネの愛眼堂 村上店



副委員長 丹 大輔
(株)丸橋



永田 強
(株)永徳酒販

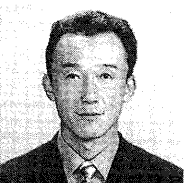


永田 雄司
(株)永徳

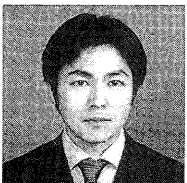
(社)いわふね青年会議所はどこに進むのか。世情は長い不況を抜け出せず、その影響からか会員拡大も伸び悩み、ここ数年は会員減少の一途を進まざるを得ない状況になっております。

又、地元地域に目を向けてみても広域合併が目前の問題として迫ってきております。その様な事からも地域はもちろんの事、青年会議所にも「変革」が求められているのではないのでしょうか。今年、「LOM創造委員会」は新しい仲間(新入会員)を多く見出す事を目標とし、100%例会の推進などでLOMの団結強化を図ると共に、地元地域に対しても外部報の配信などでJC活動をPRして行きたいと思っております。そしてその活動が、これからの(社)いわふね青年会議所のサポートになればと思っております。新しい(社)いわふね青年会議所へ皆で進もう。

ネットワーク委員会



委員長 木村 浩一
(株)宮作



副委員長 佐藤 学
(株)フォト・スタンプ新潟



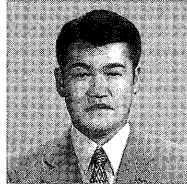
今井 伸一
(株)大進建設



渡辺 明
(株)わら竹

今、景気低迷や不況などよく耳にしますが、この先どのくらい続くのか、いまだに明るい兆しが見えて来ません。こんな時、守りに入る現状維持では生き残れないと言われます。だからこそ「一歩踏み出す勇氣」が必要だと思っております。それをなかなかできなくて、足踏み状態で悩んでいませんか。こんな時、「広いネットワーク」があれば、乗り越えられるのではないのでしょうか。「広いネットワーク」を得るには、人と人とが関わり合い交流を深める事が必要です。人と人との交流は、「情報」「意見」交換で新しい文化をもたらす、新たな価値を創造し「個人の活力」また「地域の活力」を高める原動力になると確信いたします。ぜひ個々で、真の交流意義は何かを考えてみてください。そんな「気づき」のある交流事業をこの1年間やっております。

人間力向上委員会



委員長 太田 成巳
墓石の石光



副委員長 高橋 聡
北越運送(株)



渋谷 隆
(株)渋谷工務店



土谷 孔秀
静雲荘



大越 和広
旭電工(株)

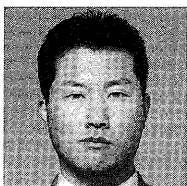


松田 郁子
朝日物流(株)

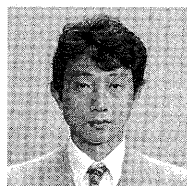
この混沌という時代に、Jayceeとして考えなければならないことは何か?それは自分を見つめ直す事だと思えます。夢の実現のために、自らのスタンスで現実を見つめながら個性的で具体性に富んだ努力を貫くことが尊く大切なことです。例え夢の実現に向かった努力が一時的に失敗しても、決して後ずさりをしない、そういう姿勢こそ現在のJC運動には必要であると同時に、それを貫く勇氣が、Jayceeの人間力向上につながっていくものと確信します。自らが本当にJCに入っていて良かったと思え、更に、家庭なら家族から、企業なら社員、同僚、上司、お客様から、あの人は成長したなど言われるような、良い影響を与えることができる存在になることを目指すことが大切だと考えます。ところで、みなさんは自分の子どもが大きくなったらどうなって欲しいと考えていますか?親の生き方や考え、あるいは夢を語り、対話することが、子を持つ親として、大人としての責任ではないでしょうか。事業を通して子どもたちに思いやりや、助け合う

心が大切だという事を感じてもらおうと共に、メンバーそれぞれが夢を持ち、それに向かって邁進することができれば素晴らしいことです。1年間、夢に向かってがんばりましょう。

新・まちづくり委員会



委員長 横井 賢
(株)新和開発



副委員長 鷲尾 辰弥
(株)鷲尾組



小野 力
(株)村上塗装工業



鈴木 憲一
中安薬局

この不況の中なぜJCか?一番疑問に思っているのは私かも知れません。JC宣言に「混沌という未知の可能性を切り拓き…」という文言がある通り、現在はまさに混沌とした時代です。今を精一杯生きるといっても大切であると思っております。もう一歩進んだ考えで「成り行き分からない今こそ自分が鍛え、成長させるための好機だ」と考え新・まちづくり委員会の委員長になる事を決めました。ある講演会で、まちづくりとは何が重要かということが議題に上がりました。それは「まちを知ること」でした。そのまちの良い所、悪い所を知らなければまちづくりは出来ません。そのことを踏まえ、我が新まちづくり委員会ではまちを知るために地域の人の交流や青少年育成に着目した事業に取り組んで行きます。

広域合併についての知識を深めるために、平成14年11月18日村上市ふれあいセンターで開催された村上市・岩船郡市町村任意合併協議会を傍聴に行ってきました。引き続き2003年度も積極的に市町村合併問題に取り組み、新しいまちづくりについて考えて参ります。

JC会員募集中

JCの3信条は、奉仕・修練・友情です。20歳~40歳までの青年が集まっているいろいろな活動をしています。この地域に密着して「明るい豊かな社会」を創り上げることを目標とし、会員相互に協力し合ったり、議論し合ったり、いっしょに苦労したりしながら一生の仲間作りをしています。本当に楽しくて自己研鑽のできる場です。こんないわふねJCに興味を持った方、いっしょに活動したい方は是非ご連絡下さい。お待ちしております。

- 事務局/村上商工会議所内事務局 岡田 TEL.0254-53-4257
- 担当委員会/LOM創造委員会 鈴木 TEL.090-2228-8649